

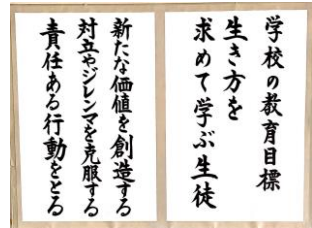
自彊前進

題字 西村直子

NO. 6 令和5年4月21日(金)
新潟大学附属新潟中学校 学校だより
文責 教頭
※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

附中が大切にしていること

入学式、始業式から2週間が経過しました。徐々に日常活動が定着してきたようです。新入生も『附中時間』に慣れてきた頃でしょうか。学級を母体としながらも、毎週水曜日にある学年朝会、木曜日は生徒会優先活動の時間が放課後に設定されています。そして、ときわ体育祭に向けた応援練習も始まっています。多くの人と関わり合いながら多くのことを学び合っていきます。時には意見の衝突もあるでしょう。自分と違う価値観をもった仲間の存在は貴重です。単に違うから避ける、というのは違います。違うからこそ、関わり合いを通して新たな価値が生まれるかもしれません。相手を排除したり、悪口を言ったりすることは決してやってはいけません。生徒一人一人には、常に責任ある行動が求められます。当校の教育目標「生き方を求めて学ぶ生徒」と重点目標にはこのような意味が込められています。



1学年集会の様子

しっかりと発表者の方に体を向けて聴いています。



2学年学級審議の様子

タブレット端末、黒板等を使用し、議論を深めます。3年生も説明に回ります。



専門部会の様子

上級生のリーダーシップにより、生徒会活動が生徒主体で進められます。



2学年帰りの会の様子

毎日の朝の会で設定した学級の目標について全員で振り返りをします。



総合(生き方)の授業の様子

なりたい自分の姿をPPF(パーソナル・プロジェクト)にまとめ、教師と対話をします。



昼休みの応援の様子

巻連、式連、参連合に分かれ、応援歌や連合ダンスの練習を行います。

教職大学院教育実践実習生

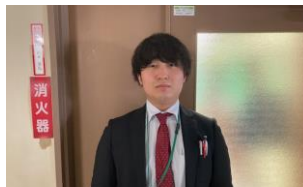
令和5年度の教職大学院生の教育実践実習が始まりました。9月までの毎週火、木に来校し、実際に授業を担当したり、様々な教育活動に参加したりします。よろしくお願いいたします。



かみむら りん
上村 倫・社会・3-3



たねむら けい
種村 溪・英語・3-1



あさくらやすとも
浅倉康友・理科・1-1



はにゅうしょう
羽二生翔・技術・3-2